

番号	9	平成28年度公共事業再評価調書				担当課名 道路整備課	
事業名	道路改築事業			事業主体	静岡県		
箇所名	しゅようちほうどうふじふじのみやゆいせん 主要地方道富士富士宮由比線			関係市町村	富士市		
事業採択年度	平成 16 年度	計画期間		平成16年度 ~ 平成31年度			
用地着手年度	平成 16 年度	工事着手年度		平成 16 年度			
再評価理由※	再評価実施(H23)後5年間が経過した時点で継続中						
全体事業費	百万円 2,400	投資状況 (百万円)	~H26年度 1,774	H27年度 84	H28年度見込 60	計 1,918	
事業概要	<p>(1) 事業目的 本路線は富士市中心部と静岡市（旧由比町）を結び、地域や生活に重要な路線である。本事業は、普通車相互のすれ違い困難な幅員狭小箇所を解消し、安全で円滑な交通の確保することを目的とする。</p> <p>(2) 事業内容 計画概要 : 全体計画延長 2,900m 計画幅員 車道5.5(全幅7.0)m 2車線 現道拡幅 道路工 2,900m</p>						
【視点1】 事業の 必要性	<p>(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化 当該区間の交通量は事業着手前336台/12h(H11センサス)、現時点442台/12h(H22調査値)であり増加している。 また、平成23年3月の東北地方太平洋沖地震の津波発生時には、沿岸部に位置する国道1号の迂回路としての機能を発揮した。</p> <p>(2) 事業の投資効果 現時点(H28)の分析結果 : B/C=1.53 ・総便益(B)=46億円 走行時間短縮便益33億円、走行経費減少便益13億円、交通事故減少便益 - 億円 ・総費用(C)=30億円 改築費24億円、維持管理費1億円、用地残存価値0.1億円</p> <p>(3) 事業の進捗状況 【事業費】 進捗率79.9% (H28末見込み : 1,918百万円/2,400百万円) 【事業量】 89.7% 2.6km/2.9km 【用地面積】 91.3% 16,842㎡/18,442㎡ 【工事費】 進捗率81.3% (H28末見込み 1,924百万円/2,365百万円)</p> <p>評価 継続が妥当 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
【視点2】 今後の 事業の進捗 の見込み	<p>これまでに延長2.6kmの改良が完了しており事業は順調に進んでいる。今後は、残る工区の用地買収をH29までに完了し、残る0.3kmについても平成31年度を完了目標として事業を進めるものである。</p> <p>評価 継続が妥当 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
【視点3】 新たなコスト 縮減・代替案 立案等 の可能性	<p>本路線は山間部の土工事が多いため、設計VEによる設計の見直しを行っている。引き続き、残る工事区間も設計VEによる見直しや、新技術・新工法などを活用しコスト縮減を図っていく。</p>						
対応方針 (案)	<p>(1) 対応方針(案) 本事業を(継続) ・ 見直し後継続 ・ 中止) する。</p> <p>(2) 理由 本事業は、すれ違い困難な狭隘箇所区間の解消により交通円滑化の事業効果は高く、事業も順調に進捗していることから、事業を継続し早期完成を図る。</p>						

主要地方道 富士富士宮由比線

(「費用便益分析マニュアル」国土交通省道路局 都市・地域整備局 平成20年11月)

総括表

I) 総便益 B	46.01 億円
便益=[評価期間内に当該路線を整備しなかった場合に発生する経費] - [評価期間内に当該路線を整備した場合に発生する経費]	
II) 総費用 C	30.01 億円
総費用=[当該計画道路の建設投資額]+[当該計画道路の検討期間内に必要となる維持管理費]	
III) 費用便益比 B/C	1.53

I) 総便益の算出

①各種費用の H42 の便益

	走行時間費用 (億円/年)	走行費用 (億円/年)	交通事故損失額 (億円/年)	合計 (億円/年)
整備しなかった場合 A	22.11	4.01	0.08	26.20
整備した場合 B	20.28	3.31	0.08	23.67
便益 A-B	1.83 時間短縮便益	0.70 経費減少便益	0.00 事故減少便益	2.53

- ・「時間便益」：道路整備による走行時間短縮を賃金率等で金銭評価
- ・「走行便益」：走行円滑化による燃費向上等に伴う走行経費節約を金銭評価
- ・「事故減少便益」：道路整備により交通事故件数が減少し事故の社会費用が減少する評価
- ・表示桁数の関係で、計算値と一致しないことがある。

②総便益の算出

供用後 50 年間を評価期間としているため基準年の年間経費に各年の割引率をかけ、便益を算出し、当該道路を整備しなかった場合とした場合の差を求め、総便益とする。

	将来の便益 H31~H80	
総便益	46.01	…B

II) 総費用の算出

[総費用]=[建設投資額]+[維持管理費]-[用地費の残存価値]

事業費 (億円)	建設投資額 (億円)	年間維持管理費 用(万円/年)	維持管理費 (億円)	用地残存価値 (億円)	総費用 (億円)
23.65	28.89	638	1.16	0.04	30.01

- ・「建設投資額」：建設費用を算出基準年次の価値で評価するために各年次ごとに割引率をかけ、合計したもの。
- ・「維持管理費」：整備延長に対する年間維持管理費用に割引率をかけ、供用後 50 年間を合計したもの。
- ・「用地費の残存価値」：検討期間後の残存価値を現在価値化したもの。
- ・表示桁数の関係で、計算値と一致しないことがある。

ふじ ふじのみや ゆい きたまつの
主要地方道富士富士宮由比線 富士市北松野



富国有徳の理想郷—しずおか
 ふじのくに

静岡県の「みちづくり」

事業概要

事業期間:平成16年度～平成31年度
 事業費:24.0億円
 事業延長:2.9km
 供用開始:平成31年度末

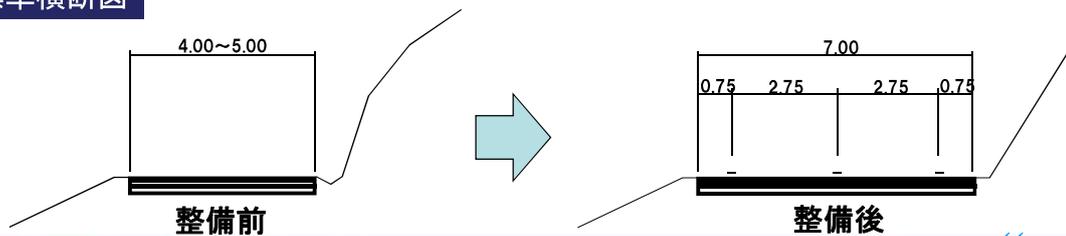
進捗状況

事業費:79.9%(H28末見込み)
 用地面積:91.3%(H28末見込み)
 事業量:89.7%(H28末見込み)

平面図



標準横断面図



富国有徳の理想郷—しずおか
 ふじのくに

静岡県の「みちづくり」

(主)富士富士宮由比線(現道)の状況

①



②



富国有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに

静岡県の“みちづくり”

事業進捗状況(H24~25施工区間)

③



整備前の状況

③'



整備後の状況

富国有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに

静岡県の“みちづくり”